

南島原市国際交流員

クリオスィタ

※Curiosità は「プチ情報」という意味

サーラのCuriosità!! ♥ 南島原「梅雨」



イタリアは、日本と同じように四季がありますが、梅雨というものはありません。

5月は春で、6月から8月は夏にあたります。

私が日本で初めて梅雨を経験したのは、2年前の7月です。第一印象は、いきなり焦点が合ったように植物の深緑色が明瞭になって瞳に焼きつき、絵の中に入ってしまったような気がして、毎日降り続ける雨に夢中になりました。

青々とした土地、灰色の空、雨の音、濡れた土の匂いにほっとしました。

6月のイタリアは晴天で暑い日が続きますが、その当時、滞在していた兵庫県は涼しくて過ごしやすかったです。

もともと雨が好きな私は、梅雨が大好きになりました。季節自体だけではなく「梅雨」という字や発音が魅力的に感じて、好きな子の全部が好きになってしまう、首ったけの少年の気分がしました。

しかし、梅雨が嫌だということもあります。カビが発生したり、洗濯した洋服が乾かなかったりします。日常生活では、雨は不便です。それでも、家に帰ってからお茶を入れて青葉を見るのは至福の時です。

雨が好きだという人は、ほとんどいません。梅雨も長く続くと晴れた日が恋しくなります。しかし、蒸し暑い夏が訪れることを考えると、私には安らぎを与え、一層ありがたく思います。

今年の夏も暑くなりそうですが、その前に迎える梅雨を私は楽しみにしています。

皆さんはいかがですか？梅雨を楽しみにしていますか？

こい何か知っちゃう？ 南島原の考古学



灯明皿

6月・7月の 小企画

6月1日(金)～7月30日(月)
※休館日：毎週火曜日
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
図深江埋蔵文化財・噴火災害資料館

図一般…200円、高校生…150円、
中学生以下…無料 ※団体割引あり
※企画展は入館料のみでご覧いただけます。
図文化財課 ☎73-6705

とう みょう ざら 灯明皿 ～日野江城跡(北有馬町)～

私たちが普段の生活の中で欠かせないものの一つに、電灯があります。現代では家の中や街中は明るい光で照らされ、夜の闇の中でも普段どおりの生活を送ることができます。

しかし、電気のない時代はどうだったのでしょうか。江戸時代の日本人は、写真のような道具を使って灯りを手に入れていました。

この写真の道具は、「灯明皿」と呼ばれています。陶器でできており、2つの皿が合体したような構造をしているのがポイントです。使い方は、まず内側部分に油を注ぎ、い草などでできた芯をそこに浸します。そしてその先端に火を灯すことで、辺りを照らす道具としていたのです。外側のお皿部分は、芯から垂れてくる油を受け止め、一滴も無駄にしないよう工夫がされています。江戸時代の油はとても貴重なものだったので、灯りをとることは今では考えられないほど大変だったのです。

先人の苦勞と工夫がうかがえるこの遺物を、ぜひ資料館で実物をご覧ください。

【お問い合わせ】

☎73-〔各図書館下4桁〕

- ・深江図書館…6717
- ・布津図書室…6726
- ・有家図書館…6737
- ・西有家図書館…6747
- ・北有馬図書室…6754
- ・原城図書館…6767
- ・口之津図書館…6777
- ・加津佐図書館…6787

*詳しいことは、館内ポスターや各図書館でご確認ください。

南島原市図書館 検索



南島原市図書館だより vol.142

南島原市図書館 きてみんね!

イラスト・題字：長谷川義史

たなばた図書館まつり

会場：ありえコレジヨホール・有家図書館

7月7日(土) ★読書ビンゴで宝つり!…午後3時～

7月8日(日) ★ちゅうりっぷおはなし会…午前10時～

★工作あそび…午前10時40分～

★ブックリサイクル…正午～

★読書ビンゴで宝つり!…午後3時～

★ダンボール迷路もあるよ!

**★DANパネ団の
みんなで楽しむパネルシアター
8日(日) 午後1時30分～
図保健センター**

各図書館行事と お知らせ

加津佐図書館

- たなばたの願いごとを書こう!
6月9日(土)～7月14日(土)
- 七夕工作教室
「おり姫とひこ星をつくろう!」
6月23日(土) 午後2時～3時
図加津佐保健センター コスモピア
図30人(要申込) 図小学生

口之津図書館

- てんとうむしおはなし会
6月9日(土)
第1回：午前10時30分～
第2回：午後1時30分～

北有馬図書室

- 工作教室
「ビニールバッグをつくろう!」
6月9日(土) 午後2時～
図10人(要申込) 図小学生

蔵書点検による休館のお知らせ

- 北有馬図書室
6月28日(木)～29日(金)

有家図書館

- 父の日だよ!
えほん侍のおはなし会!
6月17日(日) 午前11時～
- 子ども向け上映会「日本の昔話」
7月7日(土)
午後1時30分～2時40分

*予約が必要な行事もあります。詳細は各図書館へお問い合わせください。

西有家図書館

- 豆本を作ろう
6月2日(土) 午後1時30分～
図10人(要申込)
図小学生(未就学児は保護者同伴)

布津図書室

- 工作教室
「七夕かざりをつくろう!」
6月16日(土) 午後2時～
図10人(要申込)

深江図書館

- 父の日の工作教室
「お父さんへのメッセージカード
をつくろう」
6月9日(土) 午後1時30分～
図10人(要申込)

図書館員オススの本

絵本

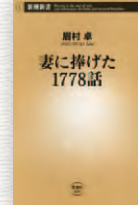


こめとぎゆつれいの
よねこさん

えはたえり／作
小林ゆたか／絵
BL出版／出版

よねこさんは、まえかけをしたおばあちゃんのゆつれい。毎晩「明日のこめ」といなか?とあらわれるようになった。手ぎわよく、こめをとくと、だまって帰って行く、不思議なゆつれい。お母さんなら、家にも来てほしい!と思うこと間違いのないのですが、それだけで終わらない楽しい展開のおはなし。

一般書



妻に捧げた1778話

眉村 卓／著
新潮社／出版

余命1年と宣告された妻の為に、小説家である夫はその言葉通り、毎日一篇のお話を書き続けました。5年後、妻が亡くなった日の最後の原稿には「また一緒に暮らしましょう」と書き残した。妻の闘病生活と結婚生活に対する、夫からの妻へ捧げた感謝のメッセージです。